

日本共産党鹿児島市議団 NEWS 市政報告

市政へのご意見をお聞かせください

●発行 日本共産党鹿児島市議団 2012年10月号 NO.152
鹿児島市山下町11-1 TEL: 216-1440 FAX: 225-5607
E-mail: kyousan@kagoshimashigikai.com
http://www5.synapse.ne.jp/jcp-shigidan/

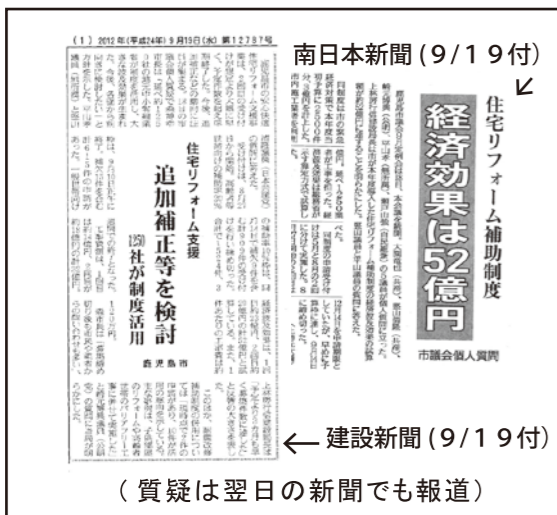
こんにちは! 大園たつや 市議がご報告します



9月議会 報告

9月5日開会、10月1日まで会期27日間の日程で平成24年第3回定例会が行われました。党市議団もそれぞれ個人質疑に立ち、市長、当局の政治姿勢を質しましたのでご報告いたします。

- P1：住宅リフォーム支援事業
- P2：星ヶ峯みなみ団地、意見書案
- P3：原発、認可外保育施設、男女共同参画、PFI
- P4：子ども医療費、JR南鹿児島駅



住宅リフォーム補助制度
経済効果は52億円
追加補正等を検討
建設新聞(9/19付)
住宅リフォーム補助制度
市議会議長大園

日本共産党が市民団体と共に推進してきた「住宅リフォーム支援事業」は、いま全国に広がりが533自治体で実施されています。(秋田・山形・佐賀は県としても実施)。鹿児島市でも昨年末、鹿児島民主商工会から提出された陳情が全会一致で採択され、今年から「安心快適住宅リフォーム支援事業(予算3億円)」として初めて導入されました。

住宅リフォーム助成の 経済的波及効果は52億円 市長も「事業継続」に前向き答弁

日本共産党が最後に市長に対し「補正予算など緊急対応も含めて事業を継続すべき」と質したところ、市長も経済波及効果があり、申請したい市民がまだ多いことを認め、「各面から検討している」との事業継続に向けた前向きな答弁が行われました。

18倍

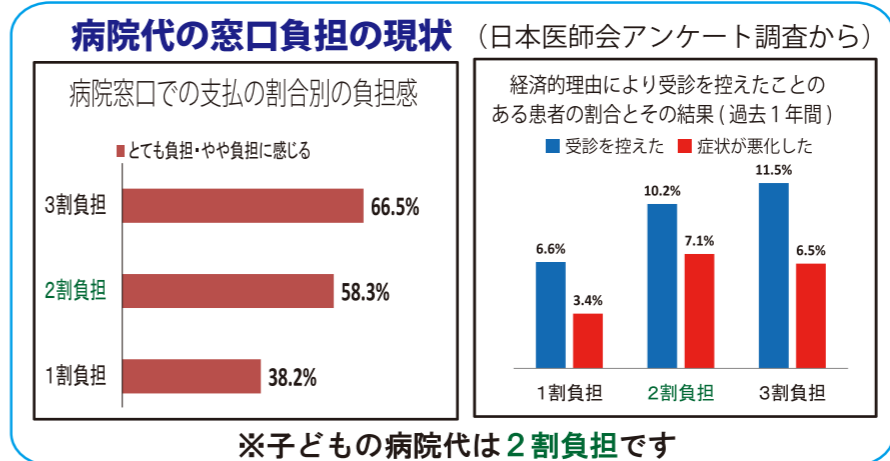
2724 件申請
経済波及効果
52 億円

工事費額
合計
32 億円

住宅リフォーム補助
市予算
3 億円

子どもの病院代の窓口負担なしを求めて 本市独自の「現物給付」導入に応えない市長答弁!!

本市の乳幼児医療費助成制度は3歳未満無料、就学前まで自己負担2千円(来年度小学校卒業まで拡充)となっています。しかし、いったん病院窓口で治療代を支払う自動償還方式という支給方法をとっているため、緊急の入院などでお金が準備できず、市立病院で450万円(過去5年間で最高額)もの未払い金がある実態が明らかになりました。これまで鹿児島県は病院窓口での支払いがない現物給付制度の実施について、病院にかかる子どもや保護者に「コスト意識」をもってもらうために実施しない。市町村が独自に実施する場合は「補助金を打ち切る」という姿勢です。現物給付を導入しても県は何の影響もないにも関わらず、自治体独自での実施を許さないことは問題です。このようなことから3人の子どもを育てる母親の訴えを紹介し、市長に「市独自での現物給付の実施」を迫りましたが、市長はこれまでと変わらない答弁でした。



JR南鹿児島駅周辺のバリアフリー化を!!

本市の主要な交通結節点である南鹿児島駅はお年寄りや車いすの方が利用しにくい状況にあり、党市議団は紫原周辺の住民と署名を集め改善を要望していました。

- Q. これまでの経過は
- 本市としては駅周辺部において歩道の連続性が確保されていない箇所等があったことから、これまでの議会での質疑も踏まえ駅周辺市道の現状及び課題等を把握するための基礎調査を実施した。
- Q. 今後のスケジュール
- 現在、歩行空間のバリアフリー化に向けて道路及び交差点、並びにエレベーターの設置を含む横断歩道等の詳細設計を行っています。今後は、詳細設計を踏まえて委員会等の関係機関と協議を行い、必要な用地取得にとりくむこととしています。



今後とも党市議団は南鹿児島駅周辺のバリアフリー化に取り組みます

生活相談のご案内

- とき 毎週月曜日午後1時より
- ところ 市役所日本共産党控室(別館3階)
- 電話 216-1440 FAX 225-5607

たてやま清隆 議員
桂田みち子 議員
大園たつや 議員